

# 2019（平成31年度）年度 福山市立城北中学校 学校経営方針

福山市立城北中学校長

岡野 英俊

## 1 小中一貫教育 城北中学校区 めざす子ども像

じっくり考え、はっきり表現し、くり返し粘り強く挑戦する児童・生徒

## 2 学校教育目標

生徒の主体性を育み、一人一人の願いをかなえる城北教育

## 3 めざすべき姿

### めざす学校像

- 1 基礎・基本の徹底と主体的な学びを育てる学校
- 2 マナーの育成と感動あふれる学校
- 3 家庭や地域と連携し、みんなが誇れる学校

### めざす生徒像

- 1 夢や目標を持ち、自ら考え学ぶ意欲的な生徒
- 2 主体的に活動し、ルールや時間を守る生徒
- 3 豊かな心を持ち、人を大切にする学校

### めざす教師像

- 1 確かな授業力と指導力を身につけた教師
- 2 教育愛と熱意を表現できる教師
- 3 生徒・保護者・地域から信頼される教師

城北の品格と誇り

## 4 経営方針

- (1)学校教育目標の実現を組織的に、全員で目指す学校
- (2)常に向上を目指し、主体性のある教職員
- (3)生徒、保護者、教職員、地域が誇りに思える学校

(1)「組織的に」とは、みんなが同じ目標に向かって歩むこと。

めざす姿と組織の方針のもと、自分の役割に主体性を持って行動に移すこと。

(2)「プロ」とは、結果を出し続けること。「知っている」だけでなく「できる」ことが大事。

望むのは「意欲のある職員」「意思を持つ職員」そして「責任感のある職員」。

(3)地域、保護者、生徒が誇りに思える学校を創るのが私達、教育公務員の仕事。

誇りに思える学校が、私たち教職員の誇り。

## 5 本年度の方向性

- ① 「学びの変革」パイロット校としての3年の実績を活かし、福山をリードし続ける使命。
  - ・「課題発見・解決学習」と「学力向上」のリンク
  - ・総合的な学習の時間のさらなる充実。(本年度 本校で県大会)

- ② 全ての教育内容に「主体性」を意識した指導。主体性のある生徒。主体性のある教職員。
  - ・生徒が自ら考え、行動できるようにするための指導の工夫と研究、そして実践。
  - ・教師は指導するのが仕事。「怒る」と「指導」の違い。思いが伝わるのが大事。
  - ・「心」を育てる指導を常に、教師が意識しながら進める。
- ③ 福山のトップ校から広島のトップ校をめざす。すべての面でレベルアップを。
  - ・常に前進し続ける学校。「決してあきらめない」学校。
- ④ 結果にはこだわる。結果を出すためには何をすべきなのか。それを実践するのがプロ。
  - ・結果とは目標。目標を達成するためには何をどうすればよいのか。教育のプロとして自らが考え工夫し、そして実践。それで学校が、そして自分が成長する。
- ⑤ 社会の変化，教育の変化に対応できる教職員。
  - ・「主体的な学び」「新学習指導要領」「働き方改革」・・・
  - ・「生き残るのは強いものではない、環境の変化に対応できたものである」(ダーウィン)

## 6 今年度の重点課題（学校評価自己評価表）

評価指標の「結果にこだわる！」

- 「主体的な学びの創造」による、自ら考え学ぶ生徒の育成と基礎学力の定着
  - ① 生徒アンケート「資質・能力」全項目「グレート」を全て30%以上。
  - ② 全国学力学習状況調査（3年） 全国平均以上。
  - ③ 標準学力調査（1・2年） 全国平均以上。
- 主体性の育成
  - ④ ボランティア参加者率 90%以上。（1学期70%，2学期80%）
  - ⑤ 生徒アンケート「自分の役割を自覚し、主体的に行動」 95%以上。
- たくましく生きる体力の向上
  - ⑥ 握力とハンドボール投げ，全国平均以上。
- 授業力の向上
  - ⑦ 生徒アンケート「課題発見・解決学習」「総合的な学習の時間」 85%以上。
  - ⑧ 生徒アンケート「授業力に関わる」 80%以上。
- 地域貢献のできる生徒の育成
  - ⑨ 生徒アンケート「地域貢献度」 80%以上。
  - ⑩ 保護者アンケート「城北へ行かせてよかった」95%以上。

そのために、城北の職員として「なにをどうするのか」

心を一つに、みんなで同じ方向をめざす。

それが私たちの仕事。それが私たちの誇り。